

平成十三(2001)年 降矢91歳

445 (1/1) 洗米を 供えて若水 汲む柄杓(賀状)

446 (1/10) 松七日 明けて初雪 仰山に (七日夜半から降り出し

た雪でせう。朝初雪が十五[㊦]積もっていてびっくり)

．．．正月三日は寒風が強く、門松まで吹き倒されそうでした。当方は日頃の疲れか 寒さのためか、実に閑散とした正月で車も人も無気味、皆炬燵をかこんで酒でも楽しんだでせう。次男が一人二泊して帰りましたのみ。来客は僅でした。

『縄文時代の渡来文化』是非実現下さい。知つての通り縄文文化に憧れているんです。

◎木俣さんは、タイ国から大晦日に帰国、早速 手紙を戴きました。タイは流石に冬でも暑い由、教壇の方が忙しく、農村視察の暇は一寸の様子、五日はハワイ学界へ、秋は学生とインドへ希望の如く。是から三月迄新設の建物に引越しをしたり、展示所を造ること。

◎賀曾利さんは、年末東北に行き大吹雪で困難した由です。

◎金子さんから山葵の札の年賀状ありました。

処で、暮に入手して置いた蒟蒻芋 年末に送れませんでした。是は自家産ではありません。私はとうとう二年放置で荒地地になりました。．．．遅れても寒が入ったばかりですから、まだ味が良いでせう。．．．干葉、子蕪を用意しました。干葉はご存知でせう。味噌汁で酒粕を加えれば寒い折のご馳走です。茹でて凍らせると味がいいです。夜は少しみぞれが降りました。

447 (1/19) どてら着て 夢の亡父に 似たりけり

Sさんの孫七山便りなつかしく、心の友でお礼申し上げます。私の理想の生活で成功・不成功はどうでも、そうした生活は憧れです。会談すれば話がはずむでせう。私と似たところが沢山あります。．．．鈴木さんも齢をとられた様子、私の桃源郷で憧れた地です。南面で眺望はよし、畑有り、田有り、小山有り、気候もよし、近くに湧水があれば天国です。．．．珍しい厳しい寒さです。晴天がつづいても残雪は解けず、北面の軒先に氷柱がたれて長く、珍しい眺めです。昔は草屋で軒に氷柱たくさんありました。今

は屋根に樋があり、氷柱は見られません。冬ごもりで運動不足で歩行ますます悪くて心配です。何はともあれ温かくなる日を願うばかりです。．．．私の水仙は雪中で芽は出ていますが四月開花でせう。朝は辛く晝近くやつと気温が上がりまます。

448 (1/24) 雪の日や どてらの姿 亡父に似て

八日の初雪以来ときどき庭に出来ますが、北面のみ眺めて根雪になった雪なので、全く雪中同様です。一金曜日には診療所医師出張で降雪後に坂道を通るは初めてでした。廿一日は二回目の雪でしたが十五[㊦]位で、翌日は珍しく暖、南面は大半が消えた様で、北面は残雪積り、三月迄残るでせう。．．．廿一日日曜日に御恵与の小包を戴きました。拙句を収録の有難く、知ての通り即興の句ばかりです。何しろ庭が天地ですから着想同じの句です。いづれ朱線をいれてお送りします。病気には悪いが痛め止めを一日置きに半錠服用です。．．．

449 (2/19) 掃き積で 雪の砦を 廻しけり

正月七日間迄は昊天続きで、土煙り立ち、烈風が吹き、暮から寒は厳しく。ご健勝ですか？新世紀の幕開けに期待をかけたが、一段と激動は続きそうですね。．．．私は格別寒い冬を迎え、山のけもの如く炬燵ぐらし二ヶ月です。孤独にはなれて居ますが、森蔭の家ですから困難しています。．．．今冬は珍しく家での越冬です。二ヶ年は信州の次女の家で寒さ知らずに過したですが、慌しい時代は何処もまた生活が厳しいですね。本年は迎えにも来ませんし、他の子供達の時代でせう。忙しく次男が大晦日に来て二日に帰り、ほかには来客も無しでした。私は知の通り寒に負ける異常体質ですから、持病の筋肉痛に苦しみ、転んで骨折した左腕はうずくし、部屋は午前中は冷蔵庫の如くです。．．．修行は続きます。

廿七日の大雪は朝から夜迄大吹雪で、軒下迄雪が吹き込み、幸い翌朝は好天気で終日除雪でした。二日間は封鎖で翌日から平常に復した様子でした。寒中の雪でしたから軽くて木は折れず、倒れず、停電のないのが何よりでした。日本海側の記録的な雪を味わった次第です。大雪に対する準備、対策のないので大変でした。掃た雪の置場も捨場はなし、是が大変です。

山梨県はこの大雪で果樹地帯の被害は大きい様子でした。町は四〇[㊦]、西原は五〇[㊦]以上、小菅方面は更に多かったです。私は不自由な体で除雪もろくろくできず、今も夕方凍った残雪を箱に入れて曳き出しています。南面は済ませましたが北面は一杯です。

立春の 陽光さんさん 野も山も
春ごころ 柳の花芽 皮をぬぎ

立春が過ぎましたので、日脚ののびに元気づきます。日の入りが拙宅でも四〇分遅れ、四時近くになりました。・・・残雪の中から化粧柳の花芽が皮脱ぎました。梅も蕾がふくらみました。

時には暖な日もありますが、変化の多い天候で、豪雪後二十日もたつのに残雪の上に小雪が有り、寒波が来る度ふるえます。

残雪に 猫と犬との 足あとや

多摩地方は雪もすくなく、百草園の梅も咲いたでせう。とうとうこの梅園は夢でした。立春から一ヶ月経過すれば、雪が降っても流石に春らしくなります。十四日のバレンタインデーも小雪で、朝庭は真っ白で終日雪模様、時折雪虫の飛ぶ如く雪舞う一日でした。

町に住む長女が今年初来宅でチョコを頂戴しました。毎日何度か庭にでも日を楽しく暖はまれで、戸外も部屋と同じで、退屈で炬燵からはいだし読書すると手が冷えて駄目です。暖かい日の午後の障子越しがいいですね。御便りを書き出しても手がかじかんで了い、何日かかかりました。面談の代わりにす。ご判読ください。

多忙の寸暇一年間の句をまとめて戴いてもそのまま、訂正の朱を入れません。どうか新世紀を迎えましたが、齢を重ねる度に老化するのみです。

450 (3/6) 一人来て 二人出て行く 春床屋

月末は急暖で春めいたと思つたら、一日は終日雨で寒と思たら夜は雪でした。二日は十時より晴て 4℃位積もつた雪も晝すぎ解け 残雪減りました。

私は寒と雪で暮から数えると八十日近く炬燵ぐらしです。・・・二日(金)診察で二週に一回通います。運動不足と動かないので食欲不振ですから衰弱です。もう半月で彼岸ですが体力を戻す迄は仲々です。

二・二六事件を知っていますか？昭和十一年です。その頃戸外は忘れもしません。十八度、西原記録です。本年も寒いが〇・一〇度が一度か二度あつたかです。室内温度から推定ですが、あの事変から軍部が政治に関係して、やがて満州事変から戦争になつたでせう。私はその頃は青年の幹部でした。長生すれば大きな異変に遭います。関東大震災、青島戦(ドイツと)、大東亜戦争、敗戦、戦後の動揺は昔なら三百年以上の変動だつたでせう。

451 (3/29) (新聞スクラップ挿入) 彼岸の入りより急に春らしくなりました。

今は、自家野菜作りで日曜百姓時代ですね。彼岸の入りに森影の雪が消えました。拙宅は日影ですから梅が咲き出した処で、盆梅は大雪の重さで枝が折れ、見栄えのものは有りません。桜は例年より早かろうとの事、当方は遅れそです。私の鉢の彼岸桜花芽が膨らみ始めました。是が一番早い桜です。

長い冬籠りですっかり老化してしまいました。筋肉は落ち、気力も無し、手紙を書くのも仲々です。次に四月十日頃、(前に話した・・・)里芋の種用を出す予定です。親芋ばかりですが、雪や寒で腐つたかどうか？沢山貰つて埋めたのですが、無事ならお送りします。

四月になりどの程度体調が戻るか、毎日僅ずつ運動しています。お中日(二〇日)正月来なかつた末子が十時頃入来し、墓参に行く由で連れて貰つて私も墓参しました。昨年四月以来、車にも乗らず、僅一年でも変たのが目につきました。寺の辺りは日向で水仙の蕾が見えました。墓所は暖で、彼岸の入りに家の孫が花を供えてありました。末子は晝飯を済ませて帰りました。

昨四月頃より体が不自由だし、齢を考え、独り歩きは間違ひでも起こしては人手の処には得に行きません。西原の様子さえ知らず、丸で他所者のようです。もう時代離れた現代に通用しない老人になりました。然し、私は村では一番倅せな老人かと思ひます。子供は今の時代に自分で選んだ道に進み、皆丈夫で私のような一つも望み叶えらぬ代りに、私より生まれ増したんです。体は不自由ですが私の一生はこれでいいんですね。食事の他は、厄介掛けず、どうか自分の事は自力でやっています、幸いに知つての通り、診療所、役場(支所)、農協も近いので、自力で行きます。只、七〇以上でないとい知人は無く、語る人も無い事です。

今日三月廿九日は朝から雨で肌寒く、一枚重ね着して炬燵です。花の春を呼ぶ雨で背う。

(一月二二日 朝日新聞?スクラップ かいじネットワーク 「上野原の農村公園名「羽置の里」 体験施設は「びりゅう館」に決まる」||この施設名は降矢さんの応募が当選の由)

452 (4/11) 木の芽風 菜の花さくら 咲くほどに

寒と大雪で三ヶ月は冬眠状態が祟り、急激に急ぐ春に体がついて行けず、ここまで老化してしまつては終りです。少しずつ鍛錬してはいますが、役に立つ事はなにもできず、自分の体の管理が精一杯です。

急激に春が好天気で、例年より遅れると思つた桜も一週間早いです。それでジャガ薯植えは始まつたばかりです。十日頃は里芋の種薯を送るはずでしたが、

遅れます。多分、腐敗はしていないと思います。御多忙ですから、お出掛け下さらぬでも結構です。誰も訪れず、毎日一人はなれています。

453 (4/26)

花から葉へ 新緑の世や 鯉のぼり (過疎の里にそれ

でも鯉登りが僅か見えます)

廿一日はあいにくの天候でした。当方は終日霧雨で草木の葉が濡れた程度でした。但し肌寒く日中一〇度で前日と十三度低かった。

晝頃 甲府主任末子が来ました。珍しく一泊し、夜は倅(長男)とビールで遅くまで話したようで、翌日は倅も休。翌日は十時半頃 安曇野の次女が一年振りで、嫁にやつた娘と親子で来て賑やかでした。末子は四時に帰り、次女は一泊せず五時頃帰りました。後は何だか淋しいものです。皆元気でした。

日照りには弱ります。廿二日は快晴 日中は汗ばむほどです。朝夕は低温です。いろ

もう私は現代では通用できぬ老人で何も話せず、話せば愚痴になり、慌しい時代、全く無用な人間になりました。花見にも行ず、庭で遠望するのみでした。

454 (5/1)

山若葉 待つ友来ず 雨となり

(昨廿九日 午後より小雨となり、廿日は朝より続いた小雨にて一年

振りの対面もむなしく 午後は止み道路も庭も乾き霧も去り、山の湧かばが映えて美しいが、夜は又雨。閑散とした一日です。)

昨日より休日 稼ぐ人の姿も無く、皆どうしているか、行楽にか? 何か行事があったのか? 人の気配もなく、時折車が通る二日間でした。

慌しい時代に、来訪の予定は(雨で)駄目でしたね。お逢いするは楽しみですが、私の様な老人はもう世間知らずで、西原の事さえ知らず、丸で他所者のようです。

455 (5/10)

山若葉 菜たねつゆの世 今日雨

六日天気 七日は珍しく好天気でしたが八日はもう小雨、止んだと思つたら又降る。私は乾燥した畑では作つても発芽せずと何も作らず、六日やつと大根を作りトウモロコシをと思つたら、盆栽入用者が来て、こいだ根枝の切込みをしてやる。八日は好天気 連休明けで皆仕事で活気づいた日で、トウモロコシを作り、ナスやキュウリの植場を作る。近日きつと農協の苗がくるのでせう。私の苗は発芽するところです。日照りのためか五葉つっじ本年は僅咲いたのみ、

隔年性でせうか。筍も不作の由です。

456 (5/24)

草青む 羽置の里の 美流館

庭から僅かに見える農村公園ですが、お陰で見ることができました。四五年経過しなければ整はないでせう。水車で昔ながらの石臼で蕎麦をひき、蕎麦処を作る由、山村は何処もこれが売りもの、野菜即売所等でせうが。西原は水源まで四^キで、小菅・丹波山は十二^キあり、山は高し奥は都有林で源流は多摩川で、都有林の水源林は理想林で原生林が多いのです。林道も戦前に完備されていきました。戦前はよく限なく歩いた私ですが、戦後は訪れる機会も有りません。ただ国道を大月線へ何度か通り、青梅街道(丹波山より甲府の街道)は三回通つたのみ。柳沢峠からは甲府盆地が一望できるんですね。

私は六月の山は農繁期ですから一度も登つたことが有りません。新緑の候は一度、鶴峠を越えて山岳有料道路へ、そして松原村へ武甲トンネルの川乗から一桐原―西原へ一周は二時間半位と思いますが、夢です。知つての通り不自由な体は、もう思う丈ですね。話が逸れました。

平年でしたら筍の出盛りですが、こんな不作も珍しく、あれきり出ません。親竹を一本残しただけで、冬の寒か大雪か、三月から四月の日照りの乾燥かいろいろ異常のある春で 鶯もまれに四月に入り聞くのみ、五葉つっじにしても変です。ジャガ薯が花どころか生え揃う有様です。

(疲れて何度かに書いた礼状です)

◎本年もお写真忝く御礼申し上げます。九十一才の記念です。

照りが小雨で、降るを願つてやつと廿二日より雨期らしい。疲れ果てて思いながら不寐してしまいました。三十日は二時帰宅でした。畑のものは散々で、雨になり寝ています。

457 (6/4)

万緑や 食膳にある 桜んぼう(どこの国かの桜ん坊が出現しました)

五月廿二日より雨が降り出し 走り梅雨がぐずつく天気に変な筍が出て暖から急に伸び、驚きです。植えた野菜作たもの照りで駄目ですが、やつと元気になります。

六月二日農村公園 美流館開館のよう準備に忙しそうです。五月廿九日きょうもはれたが不安定な天気で気忙しく送ります。

458 (6/7)

六月や 眼ざめにききぬ ほととぎす(一日に時鳥が鳴

新しい出土品や遺跡の報道もあります。私には興味はあっても一度も見ることが無いです。ただ苦しい時は縄文人の生活を考えて、現代の進化を想います。箭を発送した午後から雨になり、翌日より喜んで休養したら疲れが出たか、半病人の有様で散々です。六月に入り今度は炎天に日盛りです。然し齢でせう。体調は老化するのみです。二、三日は美流館開館で賑やかなようでした。種々町も催しものあったようですが、家居で何も分かりません。友人達も僅ですが、音沙汰なしです。すっかり時代からも（取り残されて）孤独です。（一日）たったら雨から山野の茂りは急激ですね。

459 (6/20?)

茄子の花 つゆの晴れ間 惜しむかな

つゆ入りの 雷雨にぬれて 青葉冷え

私は知っての通り不自由な体ですから、日向の畑は荒て手近の森影の畑のみです。本年は春の日照りで発芽が悪く、気温は高いが十日位は遅れ、ジャガ薯六月半から食するが月末（に掘る・・・）予定です。

近年 暑くなると枯葉になり、病気の精か以前と変りました。キャベツは腐敗し始めるし、作る処が不足で南瓜や夕顔を盆栽（素木です）をこいだり伐採して空地を作り植えます。キュウリも購入の苗は照りで枯らし、南瓜や茄子は助かりました。去年失敗したのでスイカを二本植えました。スイカは八月でせう。今年は大丈夫ですが、一ケ五〇〇円位のが青果物で来ます。遊びと運動です。

実は連休明けの日照り、日中は真夏の暑さもあり、炎天下でちよつと働きすぎ、暑さに負けました。やつと快方したら、今度は入梅入りに雷雨で野菜取りに行き逃げ遅れて全身ずぶ濡れになり、大急ぎで着替えたが発熱で苦しみました。私の話は話せば愚痴になります。とんだ宿命に生れたものです。ろくろく何もできぬでも、雨の日や物日に家に残り残されるも覚悟はしてもやっぱり怪しい。

460 (7/11)

花栗や むつと暑さに 花さかる (森林公園の栗の花が

庭で見えます)

知つての通り、暑さに弱く食欲も不振で気力も衰えて、便り書く元気もなく弱音です。

七月に入り雨なく、草木も生氣が有りません。野菜も失敗で近隣の人より半月は遅れます。南瓜、夕顔がやつと実ができ、トウモロコシも食べられる頃です

が、八月になるでせう。

御来訪の度に記念写真を撮って戴き 熊谷草やつと暑さをさける日よけを作りました。僅の時間でも助手がほしいです。九日 中元を兼て 長女夫妻が来て掃除整頓を行つて呉れました。車できたから茄子、葱、大根、胡瓜をそれぞれやれました。

461 (7/20)

五、六月も日照りで、特に七月は連日の猛暑で雨は降らず、木

草も作物も日中は萎んでいます。私は日照りと暑さで失敗、・・・矢張り不自由な体では駄目です。語れば愚痴のみです。それでも寝たきり老人よりまだ倅せかも知れません。・・・

十一日に日暮蟬が鳴き出しました。この日梅雨明けとか、妙なものでそれから毎日鳴きます。十三日間雨なしで、十四日僅な雷雨あり、十七日雷雨丈で小雨がパラつくのみ。山百合が咲きました。

462 (7/23)

海の日や 山百合咲きぬ 山の村

方々へ局部的の雷雨がありますね。当方へは僅で曇は出るが降らず、作物も草木も雨を望んでいます。

野菜物豊富の処へ 照りで駄目ですが、今日いんげんがありました。南瓜初なりました。暑さで体調崩して気力なしです。然し甲府に十七日雷雨（雹が加わつて）から朝晩涼しく、夜に安眠でき少し快復、でも昨夜より暑さ戻りそうです。

463 (7/27)

遠雷や 急ぎ洗濯 ものを入れ

今は南瓜も青果物が車で月三回は来て、正月頃からキュウリ、南瓜あつて町と変りませんが、自分で作れば出来が楽しみだし、味もいよいやなので。僅ながらこの体で遊と運動を兼てです。

廿四日は暑い日 町へは光化学スモッグ十回目が発令され（西原は除く）・・・夏本番で、山も海も賑やからしい。スポーツ、夏祭り、暑中休暇ですから、当方は八月お盆です。しかし私は毎日が独りですから変なしです。・・・賀曾利さん八月はオーストラリアへ、小菅では修学旅行にも行く人気な土地になりました。

夕立が続いてから夜涼しく安眠ができますが、九月の彼岸明け迄、私は暑さとの戦いです。

里芋の葉 日に焦げたる 暑さかな
雷雨があつてから四・五日涼しく楽にしのげましたが、廿九日より暑さが戻りました。・・・八月二日終日の曇りで時々霧ですが雨は降らず、涼しい一日です。夕顔は是からで、胡瓜など暑さで弱り夕立ちから少し回復です。

朝顔の 蔓のびほうけ 晩夏かな
八月お盆は午後曇 降りそうで降りませんが静かなお盆でした。土・日で無ければ出勤ですから、若い人達は行楽か盆踊りもあつたようです。私は来客もなし相変わらず一人ぼっちでした。 退屈で夏野菜終りを集め子供達と友人に送りました。夕顔盛りでした。
今夏は暑さで体調を崩し、時々休養します。秋の彼岸頃から私の好季節です。先日の台風は平穏で通過が知るほどでした。 是から秋野菜作りで、もう慾も無く。どれ丈作れるか僅ですね。

蝉が鳴き出したが曇天や台風で鳴きません。盆蜻蛉は盆には庭まで群が来るが途中迄で来ません。炎暑が好きらしい。それに桑畑の無き事が原因か？昨日、今日も午後四時頃はしぐれます。

新涼や こわばる腰へ 葉はり

八月のお盆は年々淋しいです。・・・家の者はよく出掛け、いつも独りです。来客はなし、本年は学生も訪れず、子供達は七月末に来たから八月お盆は来ません。・・・八月は七月の如く炎暑が少なく、午後は曇天で涼しかったですね。九月はことさらに時にはしぐれたりですね。
私の野菜類は例年より素枯るのが十日は早いと思っていましたら、四日には富士山へ初冠雪だそうでした。部屋の温度が日中二十四度から二十七度で、よるは二十二度、ときに二十度になります。早彼岸頃の如くです。

八月は思い出の多い月 一人で退屈すると皆悪いことのみ思い出し、一つ嬉しい思い出は、八月十九日 男の初孫が生まれたこと丈です。その孫は大学院を来春卒業です。

遅かったが夕顔が盛で、・・・丸い夕顔を初めて作りました。是がかんぴよう用らしい。一寸料理方が判りませんが、輪切りにして皮をとるでせうか？私も食せず味を知らず。そば畑で昨年作った種を貰ったが変形したようです。・・・只今 秋野菜作りで僅大根、結球白菜、野沢菜、ホウレン草を作り。畑が狭いし日影だし、日向の畑へは(ちよつと遠いので)行けず、情けないですよ。九月は町一帯が秋祭りの時期、各地区部落それぞれ祭り、敬老会は、西原は

十月です。私は敬老会にも祭りにもいかず、相変らず一人です。庭に来る虫や小鳥が仲間です。・・・九月七日 朝から霧です。降りそうです。侘しい時は縄文人の生活を推定します。するとフトンの上に寝られるだけでも倅せだと思えますね。

新涼の 夕べの庭に 虫の声

台風が近づいたか夜から大雨で、今日の日曜は日中少し止んだが雨で一日部屋でした。
九月は、当方は秋祭りの季節で、三日の町の牛倉社から 何処でも氏神様のお祭りをします。昔と違って土・日です。西原は、・・・
涼しさが早いと思つたら、四日には富士に初雪で、十日早いという。曼殊沙華が昨年は彼岸にやつと咲きはじめてのが もう咲きました。植物も観察すると妙なもので 涼しいと急ぐものと成育が遅れるものがあるんですね。彼岸花が咲くもみれば もうたしかに彼岸頃の気温です。必然秋野菜の発芽は遅れます。秋菊の開花どうなるかしら、入梅明けも十日早くに訂正しましたね。丹念に見ていると植物は妙なものです。

夏果てて 秋の野菜や 雨が打つ

北海道旅行(ニテロの日、台風の余波で深夜に帰宅したところ、息子から鈴木昇さん脳梗塞で倒れ意識なしを訊かされる)お疲れの様子に丁寧な紀行文有難う存じます。「交易関連の研究史」ご苦心の成果、私の雑穀渡来の推定に良き指針で敬仰いたします。時局についての週刊誌まで添えて、彼岸の連休に読ませて戴きます。感謝いたします。

改革新設の慌ただしい時代に、更にアメリカ(同時)多発テロ、世界はどう変わるでせう。老化して現代に通用しない老人は、茫然とするのみ。

夏野菜をかたづけ秋の支度でホウレン草は発芽を台風で失敗、野沢菜は成功、京菜も好し、大根は失敗、何しろ日影ですから、日向の畑は沢山あるのに、実に残念です。 信州の孫娘が敬老の祝に菊を送ってくれました。彼岸に八分咲きで、私のは今つぼみです。

秋茄子を もぐ手にらむか かまきりが やんでまた 降り出す雨や そぞろ寒

本十七日は秋のよるこび珍重なる木の実(椎の実)有難く頂戴致しました。私の付近には昔から椎の木はありません。暖な海拔の低い西原東にはあります、

遠くで見ると樫に似ていますね。でも櫛の木に作っても茸は椎茸と呼び櫛茸とは云いません。先年頂戴した木の実は栗より美味しいのに驚きました。今回も沢山戴き秋のよろこびとして楽しめませう。私はこうした真実の山の幸が好きです。自然の昔からの尊い味です。

今日は雨と云う予報でしたが、朝霧が少し降り、先日、テレビで秋の彩の早い北海道や山形の月山、蔵王の紅葉の美しさに酔いました。十六日 今日も終日雨です。

470 (10/22) 米国多発テロやらで、前に申し上げたかと思えます。私の一番思い出深い八月を迎え、五十六年前の戦時下や終戦後の開拓移民の如き生活が甦ります。・・・退屈の毎日ですが、何かできそうな日は心が安定せず、雨の日が心が和みます。是が農人の心です。老いても、天気よい日休息して吸う煙草は実に有難いです。

鈴木さんの回復をお祈りします。二回か三回の訪問ですが、私の描く理想の桃源郷ですね。調べませんが近くに山葵でも作れる湧水でも有ったたら天国です。然し来訪はもうできない。それ丈に又忘れられません。

伊那市の私の外孫二女の子供が園芸店に勤めているから伊那も浮びました。月一度は絵葉書で短信があり、塩尻の大きな園芸店で職場結婚して市外に住宅、四月から自分のみ伊那市へ通勤で、妙な事に私に盆栽のことの質問があり、手紙は説明不十分で困ります。・・・この孫が老人の日に、私に敬老の祝として菊一鉢を送って呉れて・・・

若いころ(戦前)は俳句でなく短歌で歌集を夢見て、歌稿は大切にしています。出征の折、もしも帰ったら整頓して、歌人有名人の歌集あり、斎藤茂吉先生のもあり慕っていました。家が類焼の際灰になりました。戦後俳句に変ったが、今度は句帳もなく保存や発表も心せず、ただ自分の宿命へ挑戦のため、只便りには時候挨拶に代え一句を作ります。ですから自選句集を考えています。 「雪虫」は私を支援して下さる方々の尊い御厚志で、恐らく「雪虫」に集まった句より句数は二倍や三倍作ったでせう。(送って戴いた句稿はそのまま朱を入れません。本当に氣力が失せました)

まだ秋野菜の様子も添えたいですが、いづれ又片手に拡大鏡を持ってですから判読ください。眼だつて老化します。今日の土曜日は快晴ですが、霜近づくでせう。蕾の堅い菊咲き終わるかも知れません。秋野菜は一霜か二霜かかると本味です。

471 (10/28) ここよりは川の名かわる 相州路 (追憶の句です。

昭和十八年十月第二国民兵で西原の一号で出征、戦死覚悟でした。県境を越えて相模川です。はじめて横須賀に向った日を今思い浮べました。)

とんだ時代になりました。西原に住む私は、五十六年前の戦争かが甦ります。・・・

寒さが早かったが、雨や曇で平年より降霜が遅れました。薄氷が凍ても不思議ではありません。それでも寝込みもせず耐えています。昨日好天気ですが今日しぐれて一日炬燵です。人が恋しく短信します。

話はかわりますが、秋野菜の手入れやる余裕がありますか。私は京菜好成绩です。ホウレン草は発芽を台風で失敗冬用有りませぬ。長カブ種がなく作れず、干葉に作れません。野沢菜大きくなり、近日子供が採りにきます。大根も結球白菜も不用ですが少し作りました。報告しませんが、戴いた山形の紅花と食用菊、種切れになりました。

紅葉やつとはじまり、菊が早生八分咲き、晩生は蕾かたし、初めて植たサルビアは小鉢、赤く咲いています。

472 (11/1) 菊匂う 月のかがやく 後の月

天候が定まらぬので、寒いけれど十月は霜が来ません。平年は十一月初でも薄氷が凍るが今秋どうでせう。

秋野菜の収穫も十日は遅れます。茸や山葵漬を送る予定ですが、両方どうなりますか？茸は不作で入荷するかどうか、山葵は山地の多摩川源流が台風で異状の雨量で、丹波山で何戸か避難した部落あつた様子。山葵田ほどの程度被害か判りませぬ。・・・鶴峠の山なみを境に当地は二回の台風。案外雨量も少なく平穏で山野も道路も被害なしで、きつと局部的の集中豪雨の地区だつたでせう。

廿九日の十三夜は日中曇りましたが、夜は珍しい名月でした。森を離れた名月を眺めに夜半外に月見にできました。夜半は中空ですから西北の鶴峠の山なみまで庭で遠望できます。晴れ渡つた空には白雲が二すじで、山の裾部へ霧一条浮いていて、何の音なし風もなし、絵のようです。ただ月の光は満開の黄菊が白く実には平和な夜で、皆寝静まったでせう。一寸寒いが煙草を吸いました。前便で申し上げた如く、五十六年前の戦争下がテロから戦火の今、強く思い出され、米国群の猛攻撃が頭裡に浮かびます。硫黄島で南方は破れ最前線に四月勤務したんです。爆撃はもちろん、後には友軍は空中戦も終り、飛行機亡くなつたです。艦砲射撃は受ける。何しろ物資多い国ですから、

私は幸か不幸か弱身ですから戦病で入室（入院のこと）して一週間後送還予定者になりそれから一週間、島へ物資を運ぶ輸送艦の内地へ戻るのに夜中送還されて、今日があるんです。送還後一ヶ月も経ぬのに完全に封鎖され、硫黄島は孤立したのでした。私が横須賀病院から湯河原の温泉旅館の假病棟に変わった翌三月総員玉砕だったらしい。最近の硫黄島は島民不在で、日本では自衛隊が僅居るが米国基地ですね。毎年遺骨故国へ収集ですが、まだ一五〇〇〇柱位が残っている様子です。

・・・廿三日は雪虫が二・三飛びました。雪虫は何時頃群が見れますか。時局はどうなることか、老人はおろおろするばかりで、現代の人達は何時安眠が得られるでせうか。

473 (11/20) 北海道・東北は雪の季節になりましたね。

奥多摩から多摩は紅葉の盛りのニュースですが、当方盛りが過ぎました。落葉です。葉が落ちたら柿が見えず 不作で侘しい情景ですね。

麦も稲も雑穀さえ作れぬですが、何やら気忙しい毎日です。以前は勤労感謝の日迄に麦を蒔き終り、農休を楽しんだのです。新米を食べることにしています。それが済むと雪が来るのが一ヶ月後ですから、暗いのに起きて干草や干柴を山に背負いに行きました。それを思えば極楽ですがね。

474 (11/27) 勤労感謝の連休、天気が定まり快晴ですが、毎朝霜で今朝初氷です。

以前は麦蒔を終了して農休を楽しんだもので、今年の新米を食べるのも慶びでした。野良姿になる訳にもいかず、日中は暖なので芋殻の皮をむきました。何もせず居るのも侘しいものです。八月何処の山に登って来たか、次男が私へ杖を二本造ってきました。何の木だか判らず、仕上げてきたら手間を要したでせう。杖を造って貰ったのははじめて、私の杖は舟頭が使う竹サオと同じで長いです。杖で漕ぐようにして体の調子をとるのです。その長い杖を次男が持つて来てくれました。生ですから乾して置き、本仕上げにかかりました。手直して、後を紙ヤスリで磨きます。それが済むと丁寧に布で何回も拭き、それから塗料を塗ります。次男は暮か正月に来るでせうから、一本仕上げにかかり、八分仕上で使い出しました。是はいづれ私の遺品となるので、杖に銘をいれたく、何と銘を付けたらいいか、是もむずかしいが、又楽しみです。現在使っている杖は、土井晩翠先生から戴いた座右の銘で「強く正しく朗に」です。私は書画を見るのが好きで、展覧会に行きたいが行けません。多病の上、今は

丈夫なら都内へバスで行っても半日は遊べます。昔町へ用事で行って、徒歩時代は一日がかりでした。

時に本年は最後でせう。小菅産の山葵漬をやつと入手したのみ、他は例の京菜と結球白菜と試作のからし菜では越冬させて春に花が咲き出したら採って塩で漬漬して白いご飯にかけて食うと味より調和がよく春のよるこびが感じられます。・・・既に申し上げたでせうが、戦時下から敗戦後の苦しみが甦えてきました。子供頃から病身で同級生（小学）五二人だったでせう。運命かと思っていたら宿命か生き残った妙な運命です。

昭和十八年十月 第二国民兵の私は西原の一号として、應召で海を知らぬのに海軍で勝ためと村境まで盛大に軍歌で送られました。その出征した時代が生々しく昨日の如く追憶されてたまりません。

へ急ぐ日
このよりは 川の名変わる 横州路 （横須賀の海軍の追憶の句）

昭和十九年五月 硫黄島が中継基地に派遣され（一等兵でした）、翌六月より南方が破れ、島は最前線になりました。六月半より米国軍の砲撃で兵舎は灰と化して、活火山の硫黄島に水は無く、全島に火山脈は走り一部に火山活動しています。雨水が飲料水で蓄蔵水樽も失い岩くつで雨露をしのぐ居住地になり、狭いので一班ずつの居住でした。砲撃は日々激烈し、弱身の私は十月戦病にて倒れ、十月半に内地より物資を運ぶ輸送船で送還されました。送還されし傷病者は再起不能者（不治者）で 深夜に厳しい警戒網を脱出して三日五日に横須賀に入港、私を加え四名でした。島で戦死か内地で病死かです。

幸か不幸か運命は不思議で、翌二月は快方に向かい、三月は経過退院で海平団に復帰し、昭和二十年五月 下士官を加え二〇名程で大分の海軍空港に赴任しました。空港も爆撃され、山間の僻の三角兵舎です。沖繩は決戦場でした。空港には飛行機も僅で、大分市街二キロ位の地です。ここで八月十五日敗戦でした。終戦が遅れたら、当然沖繩の決戦場に支援だったでせう。終戦の夕方に司令官宇垣纏中将は特攻機にて沖繩へ自爆したのです。実に混乱でした。

私は八月廿日 一部の人が残り、解散して復員になり、大分の農家に一泊（遠路のため準備のため）して、廿一日大分駅より早朝出発、あの混乱の最中真夏の暑さと食料不足 是又戦乱の様でした。 当時は電鉄は大分迄で他は列車時代で、家には廿四日の夜明けにやっと辿り着きました。それからは知っての通り、物資は統制で配給時代で。家は出征跡の翌年三月に類焼でしたから丸で

山茶花や 師走の風に うつむいて
短日や 音立てず部屋に 一人かな

驚く寒になりました。雪こそ降らねど例年の十二月波です。(室内が三度になり日中も十度の日あり)五度以下になれば着替られず 炬燵に入ったままで動けません。日かげは畑も凍たままです。十一時 戸外にでて庭に当る日を浴びて、ほっとして動き出します。森かげですから、雪の来ない間は冬籠の支度ですが、是はもう冬籠同然です。一・二月は当方は極寒ですから、虫達のように冬眠ですが、南房や伊豆の二月に菜の花の咲く丘でシートを敷いて日を浴びながら寝てみたいですね。

十一月半より天気でしたから、子供達や支援して下さる友人に秋野菜を送れました。これが楽しみであり、よろこびなのです。然しいつまで続くか？

鈴木さんを思うと人ごとでは無く、そうした日は遠くないでせう。
寒日が続き 炬燵にちつとして手を出すとしびれる様です。枕元近くの書籍を見る元気もなく、然し心は和みません。晝頃にや々と軒先に出て煙草を吸って 凧に急に裸木の山を眺めました。

五十余年前 應召で出征した私は二年間に七回配置替で一カ所に五〇一六〇日でした。新しい処に行く度に一ヶ月は上司を覚え、同年兵でも一日でも早い人は先輩として敬意表するので、そうした調をし、夕食の折に新任としての挨拶を述べるのです。軍隊は一番厳しい社会です。生涯農人で終る私には今考える とよい勉強になりました。

妙な宿命と云うか、運命というか、僅二年で横須賀管区の他に呉や佐世保管区にまたがって勤務しましたので、日本の三分の一の府県人に逢いました。是は今になれば立派な勉強でした。西原で農人暮しでは得られぬ事でした。命を賭した体験でした。毎日一人ですと覚悟はしても人が戀しい時があります。相変わらずの無駄話を書きます。

里芋を少し作りました。日かげで芋より茎がとれました。芋茎の皮をむいて干しました。干葉の代用に使えます。私の好きなものの一ですよ。

十一月半 馬鈴薯の種が入荷しました。昨年と同じ白早生(伯爵)ですが、(昨年種送って上げた・・・)成績はいかがでしたか？・・・自家の種はありますが、馬鈴薯は若いのがいいので、家で穫れたものは七月か八月の収穫の故老衰しています。北海道は十月頃収穫し間もなく発送です。春は保管しますからその分高価です。家で種を穫るなら二化性にして 十月から十一月に収穫した

ものが理想、親指位の大きさでいいですよ。面倒でもそうした二化性迄はやりません。代りに毎年買うのです。もう六キロもあればいいんです。

もう春の野菜でも出来ぬ間は御送りするものは有りませんが、長カブ作れなかつたから、結球白菜の苗があるので 空き間に入用もないまま植えたのが沢山あり。堅く結球しないが是を日影に吊して干す予定です。箱保管も穴を掘り貯蔵しても二月頃はだめですね。外側を捨てるので野菜不足の頃、食べられるかも知れません。

かそへ日の 通院の頬に 雪舞つて (廿一日は本年最後の診療所 十時頃雪降り出す)

歳末は忙しいのに連休で一息ついた様に見えます。廿一日の雪は、日向は積らず、物陰や日かげは真っ白。積もったという程ではないが根雪となつて残れます。・・・十一時頃に着替えて何か仕事で、晝飯は二時です。食べ終ると日が陰り 続きを少しやると五時には暗くなり、気はせつても一日三時間です。・・・もう畑はそのままです。五・六度にならぬと動けません。若い時は、雪前は暗いのに起きて干草や柴を山に背負いに行つたのですが、帰ると顔に汗がにじんでいました。

廿四日十時頃に 音沙汰なしだった親友の山葵屋が突然例年通りの山葵漬を持つてきました。(音沙汰なしは人手不足と忙しかった為)。是より奥多摩へ山葵引き取りに行く途中で、後日ゆっくり語る予定。西原特産品として恥かしく ないと思えますのでお送りします。又、例の京菜・・・芋殻・・・結球白菜を加えます。

廿日 満九十一才の誕生日で、すぐ数の上では二です。実に妙の宿命を背負います。病弱が生き残るんですから。信州の次女が祝を送って呉れました・・・長女は十九日に来て誕生祝やら私好みの駄菓子やカップラーメンで、整理整頓、障子の切り貼りでした。正月は他分 男子供が来るでせう。無事の御越年を祈ります。御礼厚く申し上げます。

何枚かの年賀状やつと今日廿五日出し、書き疲れです。

卒寿越へ 明治は遠し 初日かな (年賀状)

(1/15) 次男が二泊で来ましたが、体力作りに休日は登山家で、元旦は六時か七時に久し振りだと三頭山へ登り(私の起きる前に)、丈夫ですから晝頃には帰り、一杯やって休養したでせう。二日は私が起ぬ前に帰りました。五月の連休か春の彼岸に来るでせう。忙しい様子です。

小正月(十五日正月)は山村も農家の時代は賑やかでした。今は門男を祀る人もないかも知ず。土間には鯉神様や白神様をまつり、座敷には団子さし繭玉という白・赤・黄色つけ餅花ともいい、養蚕の神様です。松焼き(ドンド焼)行事は一杯でしたが。

拙宅は近代化して、門松は立てたが団子も作らず、丁度連休で出掛けました。独りは慣れていますが、ちよつと暖な連休で午後からは洗濯ですが、洗濯場は日が当らず、寒い時は水道も凍り使えません。洗い終る頃は日がかげり、軒下に吊るしておきます。知つての通りですから乾すのも大変で、乾くのに二三日かかります。疲れて終ると炬燵です。(一通目 一月十五日)

暮の廿一日に小雪があつてより、寒は格別例年より寒く・・・今冬はもう欲得なしで 十時頃に日当る軒下日を浴びると元気づくが五―七度でせう。

畑の白菜を正月前やつと家に運び、無用ですが日かげの軒下に吊しました。次に馬鈴薯の種 10kで110ケ 1kで11ケです。そのうちお送りします。

・・・今は年賀に行き来するは深い関係のみです。ですから賀客も僅で、家の人達もほとんど出掛け、毎日一人です。日中軒下の日向にでて、杖を造りはじめているが、続ける元気なしです。(二通目)

(1/15)

親雀 仔雀も軒に 氷柱かな
森かげの おらが住み家 雪つもる

関東へも雪が来て寒さ厳しく、暮からの冬ごもりで運動不足になりました。・・・東北の豪雪を思えば、私の生活は楽なものでせう。正月は寒いうえに今や近代化したといふか、勤め人時代で皆ひごるのつかれを忘れる為か車で出掛け 本当に人影はすくなく閑散とした時代です。おかげで初春は迎えました。生き残りは世代交代で取り残されて了つたからいつも一人で相手をして貰える暇人の無い時代で、承知はしていますが正月らしくありません。非農家ですから正月の行事はせず、只、成人式の連休に休養した家の人達です。一寸暖で好天気でしたから、日中の日盛りに水道が凍らぬので三日度戸外にでて洗濯でした。不自由な体ですから洗うは好きが、干したのを入れたり、洗ったものの始末が大変で、疲れた一日は珍しい大降りの終日雨で雷鳴りました。翌日は好天気と思うと廿七日(廿六日の夜)は心配した雪で、積雪は20センチ以上らしいが、

雨が加わって私には掃けない重い雪でした。翌日は好天気でしたが日陰は三月まで残るでせう。春彼岸過ぎまでは、相変らず冬眠状態ですね。気力も衰えて了つて、庭に日が当る十時迄は寢床か炬燵です。春が待ち通しい毎日です。

480 (2/18)

立春や 背戸の氷柱に 日がとどき

節分は終日雪でしたが、翌日は快晴で暖な日になりました。知の通り私の元日は立春で 是から数えて五〇日経ると野菜やジャガ薯植にかかるとです。処で馬鈴薯種を送ります。・・・縦に割り切り口を上に向けて植て下さい。切り口を上に向けては芽が明るい方へ伸びたがる作物だからで・・・

良き拜年でした。日頃のお疲れの休養なされましたか。・・・年賀状以来 信州の孫娘が月に一回は絵葉書で短信ですが呉れます。二月八日 町在住の長女が年賀を兼ね 例の如く掃除整頓と蒲団を干したりして貰いましたが、昭島に住む子供が一月に女兒誕生で早速行ったとの事です。曾孫(ひこまご)が誕生とは 私も長生したよろこび 早速お祝いを届けました。めでたい年になりました。

二月九日 昨日は好日和で暖でした。甲府在住三男(末子)が年賀に晝頃来て、三時頃帰りました。彼は地方銀行(山梨中央)高根町支店長で甲府より通勤が、二月異動で 昔赴任した中央沿線国分寺支店に転勤の由。

病弱な私でしたから末子が十八歳迄生きたいという念願だったのが 四十を越えました。中川さんのHさんより一つ下です。

雪が降つたら軒下の日だまりで、農具でも直したり、接木の道具でも砥ぐ予定が 異常気象で、凍つた雪掃きや最近の寒の戻りの厳しい寒で苦しんで居ます。・・・日脚は伸びて三時半に日のかげりになりました。暖になるのが待ち遠しい。伊豆や南房総は菜の花・水仙が花盛りですが、そうした丘でシートでも敷き寝てみたいですね。

二月十八日 今日天気回復で一寸暖です。戸外七度

481 (2/18)

独り居に 部屋を広げり 三月(やよい)まつ

四温三寒か 暖が交します。日陰に根雪がありますが、盆梅が一輪咲きました。山形は積雪でせう。伊豆河津は桜が咲き、南房では菜の花盛とか。平年は立春より五〇日経ると畑に掛かるですが、運動不足か吐息つくばかりです。・・・

482 (2/27) 北は積雪、南は菜の花盛り、残寒去らずとも中間地帯ですね。節分の後は又乾燥期になり 雪の多い日が多く、相変らず冬籠りから抜け出せません。盆梅が二・三輪咲きました。黄梅 猫柳 化粧柳もうるんで来ました。運動不足で歩行に難渋で仕方が有りません。困ることは時代から取り残されて何も判らず、他所者の様なんです。

弐月を終り桃の節句が来ました。私は変わりなく平凡ですが、サラリーマンは忙しい毎日のようです。平年は廿日を経ると畑に出るんですが？
日脚は伸びましたが、冬は山頂から降りてきます。春は町の方から上つてきます。日陰の根雪も僅になりました。

483 (3/30)

杉花粉 くすくす眼鼻へ 沈丁花 (彼岸の中日は烈風で土煙が空を曇らせ、眼花口中 苦しかったです。その折 沈丁花が花盛りで

香て呉れた一句です。)

桜が平年より十日以上早いで、花見の支度の方が遅れたそうですね。もう満開でせう。西原も四月十日頃は満開か？ 二月の節分に終日雪でしたがそれより数えると五〇日降らず、日向も日陰も乾燥して了ひ 彼岸明けたら暖ですが畑を耕した人はありますが、降ぬうちは何も作らず居ります。・・・
・・・昨五月にオープン前の農村公園に見に連れて行って戴てより、あれから車に乗ったことなしです。生き残りは時代に取り残され 世代交代で何も判らずです。

正月は長女の処で初孫が生まれました。女の子で私には曾孫です。長生した是はめでたいことでした。三月十五日は甲府在住 亡兄の妻 義姉上様の葬式 九十四歳でした。これは凶報です。人の世はまったく平和は続きません。廿九日は終日小雨で久々御伺い迄

484 (4/22)

葉ざくらや 森の樹下に 山吹が

暖冬といつても暮から寒さが早く 雪の来ないうちに冬籠り三ヶ月、何もやることなしに過したら老化が進み、とうとう季節に追い越されて、是から畑に、・・・ 彼岸明けから暖で 雨で今度はぐずつきましたが、三月廿一日午後 雹交り大雷雨で庭が白くなりました。然し、四月一日が快晴、気温上昇し 桜も二週間早く咲き。昨年五月以来に御来訪以来車に乗ったことなし、・・・ いつも家で一人ぼちです。

時に三月十日に西隣の大家の奥さん他界七十二才、十二日通夜、十三日告別式、家の周りを清掃大変でした。私はもう扶養家族ですから 済むまで家に閉じこ

もりました。私の亡妻は四月十二日で四年目、その年は桜が満開でした。畑に少しでると疲れて駄目です。

485 (5/1)

新緑五月になりました。昨年より祭りも花見も何かあつても出掛けず、自分

の家に住みながら西原の事も知らず、他所者のようであの付近のみしか歩きません。

毎日一人です。但し食事は作ったのを朝一日分戴、勝手に独りで食べます。出勤の人達

では早すぎ(私は)九時頃です。なるべく世話にならぬよう自分の身の身は段々大変です。

四一六月中旬迄は私の好季節で、七一九月の秋彼岸迄は暑すぎます。森影の日陰の畑は危なげなしですから、遊と運動を兼て野菜作りです。知つての通り坂道を下ると農協と診療所で、診療所は二週に一回通います。週に一回(金)町立より出張です。農協は時々行きます。私の使うものは七分あり、三分は誰かに依頼して町よりです。電話番号は出来ないし、自分丈使うのも勝手ですから四一五年使いません。一寸生活の説明でした。

暮しも急に変わりましたね。とんだ時代です。都会も田舎も住みよい処はなく なり、小正月も雛祭りも彼岸も無しで、ただ連休か休日を利用するのみで、勤め人の出勤は大変で、以前の地方色は消えます。事故が老人は多いので間違いを起こさないように 管理が仕事で背うか？
時に五月の連休は休養ですか？・・・ 五葉つづじも半月開花が早かったです。もう散るでせう。藤が咲き、花蘇芳が咲き、山吹はあつという間に終わりました。自然はどうなっているか、四月廿日 鶯がはじめてきました。

年々老化が強まります。休み休み畑にでも疲れて読むことも書くことも続かず、実を横たえるが楽なんです。

五月の連休は天候がさっぱりしませんね。誰も訪れる人もないでせうし、誰も待っても居ません。矢張り独りです。

486 (5/9)

卯の花や 空家の垣に 咲きにけり (二年振り原の奥迄連

れ戴き過疎化和部敷く 卯の花が咲いていましたね)

時代には取り残され、季節には追い越されて、追いつけず、知つての通り不自由な体で生き残りですから、間違いで起こしたらと何処にもいかず、何かあ

つても出掛けませんが、五月連休に本年も逢えたことは最高のよろこびでした。四日はめずらしく私への来客があつて帰ったところでした。

美流館 小籠ほしくて 友に乞う (写真有 完成の美流館へは
じめてでした)

五日は立夏ですね。二年振り世の中(西原)を見ました。

五日は客も無く、昨日神経が疲れて家は留守で独りですから半日寝込みました。午後庭で煙草を吸つて山を眺めると紫の山藤が映りました。六日も相変わらず一人で畑にでる人もないが、茄子五本 南瓜一本 夕顔一本植える。水を運ぶのが大変です。曇は多いが、又日照りです。

487 (5/13)

若葉冷え ひねもす霧で 竹の子掘り (七日の一句)

六月オープン農村公園は考えず、ただ二年振り原・郷原を一周したかった希望でした。美流館も賑やかでした。まだ露は珍しいと思つてお土産に差し上げようとしたら財布なしで、反対に私の方が籠を願つて了つた。全くボケてました。

十日朝から小雨降り止んだり、金曜の診療所に二週一回行きます。中川さんの事を近所の人が居てから聞くと、四月に立川共済病院に入院の由、八王子から立川まで彼は子供や兄弟が沢山住んでいて、よく見舞つて貰うでせう。それに倅は通勤しているので 毎日立寄るでせう。

三日は長作観音様の縁日、四日は小菅の源流祭で、自動車よく通ります。此日活性化のため、いろいろ催し、西原からも近隣からものです。西原も美流館は賑やかで、私の方は知らが、西原では私の事を知る人は多いから長居は出来ません。もう二年間かくれている生活ですから。午後からは雨で心が和みまして筆を執つたが老化が進めば駄目ですね。ご判読下さい。

栃咲きぬ 小豆の匂と 亡母(はは)はいい (七十余年前
栃の花が咲いたら小豆を作る匂だと母から教わりました。 栃の花が
咲きました)

御礼の言葉が後になりました。写真沢山有難く存じます。私も写真で見ると半身不随には見えませんが、遠い友人や甥・姪たちに折りが有れば送つてやる考えです。暇な折、美流館で籠と煙草を吸っているのが私らしくて、是非(この写真を)四―五枚焼増をお願いします。

西原に住む人はいいが、今は他所に多く住んでいて、三十年合わぬ人の身で安孫子さんの年配で、定年退職した者もあり、今の時代は誰も慌しいですから。

488 (5/22)

若葉冷え ジャガへつぼみだ 晴れを待つ (廿日 終日雨
で、土だらけの野良着洗つて軒下へ)

連休が終わったら翌日より天候悪くなり、丸で入梅の様です。美流館前の写真が私の真実の姿でせう。虚勢も張れず、畑で煙草吸てる私です、傍の籠は大切な籠です。西原の長老のボケて来たのが出ているでせう。本年の真実の姿の私でよい記念です。自然に反しません。厚く御礼申し上げ、子供に送るつもりです。・・・苦しい時は縄文人の生活を思うのです。大和民族だと誇りをもつた私は、出征してさとりました。渡来はいずこか、私は北方系民族だと思ひました。故に幼い頃より南を恋し 燕の国、常世の国を探しています。肌寒く晴れた日とは十度以上の差です。

489 (6/25)

(一通目 6/17記)

父の日や ジャガの花咲く 山は霧

暦に入梅と有りましたが、十一日梅雨か、涼しく日はささず濃霧で時には細雨が来ましたが、終日露です。五月連休に來なかつた子供が父の日を祝つて贈物が来ました。黄色い造花が一本添えてあつたり、母の日は赤いカーネーションですね。・・・例年ジャガの花盛りは雨期ですが、本年は、三月は日照りで、烈風で土埃の日のみ、誰もジャガは遅れて了いました。例年十六日は亡母忌で掘つて供えるが、本年は遅れて、皆の日向の畑より花が遅れたので、月末まで延しました。父の日も独りでは、午後畑へ行きました。子供の頃から病弱で、スポーツも音楽もいったことも見たこともない私は、テレビも用無しですからよけい退屈なのです。

今日は朝から結構な雨で、薄寒く厚着して、家居で、自分の事から筆を執りました。五月連休が済んだら丸で梅雨のような雨期に入り、特に低温続きで私の初めての経験です。冷害でせう。農協に注文した野菜苗植えましたが、大半腐り、スイカ完全枯れ、次がキュウリ・ナスは芯が腐り根からです。キュウリ大半駄目で、南瓜もやられ、まだ自分で仕立てた苗を植えています、育ちません。収穫は七月下旬可、散々です。・・・

正月に長女の処で生まれた女の子を五月廿二日に初めて夫妻で連れてきました。私には外曾孫ですが抱いてやりました。泣きもせず、鼓動が伝わり合いました。生き甲斐があり、その感動で魅つたのは昭和十八年六月に長女が生まれ、十月出征でしたから、是が見納めかと抱いた想い出です。同じ五カ月の嬰兒で戦死覚悟でした。悲壮と感激での対照の思い出す。

(二通目 6/24記)

沙羅散つて 梅雨つづきけり 夕の空

私の甥の若い人達（末の姉の子供）は同じ年配で、私を叔父さんと呼びます。上の姉たちの子供は兄さと呼びますが、四つ下の甥が生き残って、私と兄弟同様の人達は五人戦死で、もう一人か二人生き残れば話が合って良かったです。次に、金子さんから露・葱を戴いた信がありました。祭や物日には孫達が集まり仲々賑やかで忙しいらしい。それにしても都市も田舎も住みにくい時代ですね。慌ただしいこんな時代は暮しも急に変わり、扶養者の私は申し訳のないような毎日で、何の役にも立ぬ老人は厄介をなるべく掛けぬよう努めます。今は青果物が車で売り回り、キウウリも南瓜・サツマでも何時も有り、産地は何処か、スイカもメロンも持つてきます。私の野菜等は迷惑かも知れませんが、友人や子供に宅配便で送るもよろこびあり、楽しみなんです。毎日一人は退屈であり、運動不足といっても歩行が難渋で、もう二年裏山にも行きませんが筍を喰いに猪がきたそうで、後で聞きました。

490 (8/21) (一通目 8/20付)

私は長男と同居で扶養されているので、他の子供は兄に敬意を表しいつも沢山土産持参で 私には僅です。実によい嫁ですが、共に町へ勤めに出勤で、出勤迄に私に一日の食事を持ってきます。帰ると又食事の支度、頭が下がります。ですから僅ながら食事代を差し上げます。私は六時出勤の朝飯と一緒に食べられず、後で八時頃に独りで済せ、晝食は一時頃で、夜八―九時に済せお膳を返します。食事代のみ 新聞電気代は出しません。故に新聞は一日二日遅れをゆつくり見、電気もラジオも無料で、ボケ老人に段々なり、物忘れは多く、知ての通り不自由体ですが、生きている間は食事の他、自分の身の廻りの事は厄介掛けぬよう努めている次第。今この世で電話は使えず、便りを書いても投函も遅れ 四―五日経過珍しくありません。八月廿日の台風は無事通過、お盆も終り涼しくなりました。

いづれ又 暑さに弱り欠礼です。
(二通目 8/21記) 目まどい(ブヨ)に 追われてお盆の 草むしり
午後五時頃より家の廻りの草むしり 炎天にはいませませんが、日が傾くと蚊より小さい蛇の群で、顔・手足に喰いつき痒いうえに腫れあがり難渋です。
・・・七月は誰も尋ねて来ません。行く処も無し、毎日孤独の生活です。覚悟はしていますが、侘しいんですね。七月に入ると気温が上がり、四日から真

夏の暑さになりました。町へ光化学スモッグ発令 十二―三回(西原はのぞく)。六月はジャガ諸掘れず、猛暑の七月に入り収穫で大豊作ですが、掘るは早いが畑へやと行く体ですから運ぶに困難で、とうとう暑に弱ったのに無理して体調崩し、やとと海の日の連休二十日に終了。こんな次第で、無沙汰でした。この二十日で梅雨明けの由。

正午から格別暑い家で、夜中に32度あり、四日より蒲団の上にはいませが夜半二時迄寝つけず、寝返りを何回するのか、日中は木陰の風ある処はいいんですね。こんなに連日の猛暑続きも異常でせう。

五月の連休が終わったら天候が替わり、雨つづきで農協注文の夏野菜の苗は冷害でせうか、皆腐ってしまいました。七十八年やった百姓の初めての経験です。照って枯らすは当然ですが、雨が降ってです。自分が仕立てた小さな苗に植替えました。例年より十五日から一ヶ月遅れて収穫を始めた次第です。

・・・宅配便で荷作りして農協に三時まで運ぶとその日の発送で・・・助手が有つて僅でも手伝えれば楽ですが、時には宅配便を運んでから晝飯を食べ、四時頃まで涼しい処で休養です。暑さに弱のに無理を重ねたので食欲は無し、寝不足あり、男の長老も形無しです。

491 (9/11)

しぐれけり 今宵は裏で 虫鳴けり

厳しい残暑も九月六日より秋の雨期になりました。台風一過後も夕立があり、山野生氣に復し、やとと大根、葱苗を蒔たら、残暑真夏に戻り忽ち乾き発芽せず、異常天候で散々です。・・・当方も八月お盆で、私はお盆の支度は家の周りの掃除と草筆りでした。西隣が新盆で来客が拙宅の前を通るから倅と忙しく掃除でした。拙宅は来客は子供二人のみ、他の子供は忙しくて来ません。お盆が過ぎ、九月は町から秋祭りです。四日から七日まで町にそつた部落で、西原は十五日がお祭り開始 終りは秋の彼岸です。

五月以来、私を尋ねて下さる方も無く、私は盆でも祭りでも家居で、少年の頃より病弱で、スポーツもやつたことも見もせず、・・・犬が居りますが、散歩したがる犬と歩行困難ですから散歩もできず、犬も独り、私も独りという毎日です。すべて再三申し上げる通り覚悟はしています。・・・老化が強まり、物忘れが多く、ボケ老人といふ事です。視力も弱し、根性も無くなります。何度かかかつての便りです。敬老の日は子供でも来るか、然し待ってもいません。雨の家居は人が戀しいが

薄曇り)

処で前便で申しあげたか、本年の小菅村での雑穀研究大会は九月二十七日より三日間で、初日は旅館、二日目は丹波山村や小菅村の雑穀畑を訪ね、三日目上野原町の雑穀畑を訪ねたり、長寿食を味わったりの様子。

(木俣さんが)敬老の日に五時頃に来訪下されたのは、終了後と勘違いでした。小雨が降り出し時間はなし、折よく畑から戻ってきた私は雨衣と汚れた野良着を脱いだだけ家には入らず、二三年振りなので自分の事のみ談笑して別れました。柚さん、学生一人(の)三人(連れ)でした。その日は降りそうな曇で雨衣を持って畑に野沢菜作りで、雨が振りだし帰宅(したために)逢えた次第。

五月、六月は記録的な低温で、五月に農協から購入の苗、冷害でせう。雨なのにみんな腐って、八十何年かの農体験ではじめてでした。ですから遅れている自分の苗を植え直しました。茄子の初なりは半月も遅れました。茄子は枯れた根から芽生えたのが僅になったのみ。例年は五本で家で三分の一、後は子供や友人へ送るのです。七―八月は記録的猛暑、雨は降らず四十日の日照りでした。

申し上げると豊作はバレイショと洋種トウモロコシ、インゲン(蔓有)、是は籠で若葉を大量に敷いたのがよかった。不作は夕顔と南瓜 是は水不足です。当方九月半より秋祭りで・・・必ず雨で、本年も終ると快晴までとはならずとも雨は止み、日がさす日もあり。

漬菜やホウレン草作り遅れ、秋野菜 初冬から越冬野菜は心配です。

雨でテレビを見ましたら、偶然に南房総館山在三芳村の巨大南瓜の品評会。三芳村には農友(次便に樋口守氏とアリ)有り 精農家と云か篤農で長年の交際で年に三―四回は文通です。早速手紙を出したら丁寧な返事がありました。村の収穫祭の一つとの事です。西原には以前三頭荘一泊で秋祭りに来遊して、私も再三招待されましたが 付添いほしい体ですから行けません。

記録によれば天明年間の大飢饉は、三月頃までは異常な暖で四月は霜降って寒くなり、五月の田植頃より二十十日頃まで雨降り続き、麦は腐り 稲青立ちして結実せず。信州浅間山が大噴火して関八州に灰降り、死者二十万人余。小田原の大地震もあり、餓死は多数、伝染病、病虫害の発生、松皮・葛・蕨の根・草等食べられる物は食べたでせう。東北も凄惨だった様子ではが五年位つづいたらしい。私の初体験の本年以上の事はあったですね。

まだ出来はどうでも初冬から越冬野菜作ります。秋と春は私に適した好期で

すから。崩れた体調も回復するでせう。

思いながらご無沙汰になります。アット云う間の台風でした。上陸前雨が多いですが小振り風を心配したが風も弱く、何時通過も知らず翌朝は晴で、被害はソバの倒伏のみでせう。秋が深まる精か寒が早いようです。

十五日は五時頃雨が降り出し 帰宅したら木俣教授の来訪に逢え(雨具と野良着を脱ぐと言えに入らず門で珍しさで談笑しました。雑穀大会の準備下調べ小菅より帰途で、もう時間はなし、でも小一時間だったので遅くなったのでは。大会、廿七日から二泊三日、丹波山・小菅・上野原、雑穀畑見たり同会の研究に関わる発表、学生会員多数参加者だったでせう。研究会長は有名な阪本寧男先生ですが、一度も会ったこと無しです。二十九日は上野原で雑穀畑を訪ねたり農家より直接話を聞いたり、民宿でアワ・キビを使った長寿食を味わったりして、上野原で解散だったらしく、当日、拙宅前を行ったり来たり車が通ったが、大勢ですから拙宅へは立寄る時間無で、私も車繁く通は見ました。阪本寧男会長の後任で木俣教授が会長に就任です。

◎九月十六―十七日だったか、テレビ一寸見たら 偶然南房総館山在三芳村の収穫祭・・・農友の樋口守氏に、・・・急に巨大南瓜を作ってみたくなり、種が入手叶えられたらとお願いしてみました。目的は農協傍の五葉つじ近くに一株作り、成功したら農協へ寄贈して入口処に飾りたいのです。私に運ばなければ職員に運ばせませう。是も一興でせう？是は夢で終わらせたくありません。ぼけ老人になり、物忘ればかりして弱ります。ですから葱苗を蒔たり、南瓜、キュウリ、夕顔の種を採っています。種は購入しますが、自家取りの種を加えれば、直播きしても厚蒔で購入の種二粒位です(?)。でもこの齡では来年は畑に出られるか？ でも人間は生きていくことは働くといふか稼ぐ務めでそれが実行出来ねば死と同じです。運命というか宿命といふか、五体満足に生れ半身不随になった親不孝罰かとも思えますね。拙宅では一番おろか者とかか病弱で不器用な上に浅学なんです。私のために子供や孫も恥しい思いをさせては親類一門に対しても同様醜い姿はなるべく見せたくなく、人に愛される人にと努めているんです。毎日一人ですが、世代交代で時代に残され判らなくなり、私の話相手して下さる方はまれです。今の世何処住み難くなりました。

十月晴日が続いたが又天気が崩れました。

多年の研究の「縄文時代の渡来文化」完成なされる由、心よりお祝賀申します。
 山形県羽黒町中川代遺跡からの、浅川氏との共編も大変な仕事ですね。老人相手はご苦労さまです。

時に鈴木さんは多少快方でせうか？ 金子さんが見舞いに行きたしの知らせではあり、金子さんも稲も収穫とは存じますが、慌しい時代ですね。

晩秋に至り霜が来はじめたら山も紅葉が映えてきました。急に寒も加わりました。日陰の家ですから短日になるといつもながら苦労します。

縄文人の生活を思つては畳の上に蒲団を敷いて寝ることは倅せと耐えます。とうとう異常体質で寝込んで了つたら起き出せませんが、覚悟していても終

日のひとりも侘しい。たばこを吸に出ても心はずみません。霜で焼けた草木が眠につきました。朝は四―五度になります。今日は文化の日です。

本五日「縄文時代の渡来文化」有難く頂戴致しました。浅学の身にいつもご教導感謝いたします。生きる事は学ぶ事でもあり、一步前進するでせう。文化の秋は何処も行事や催し物で一杯のようです。東北は初冬でせうが、ご健在で実家へお寄り何よりです。

夏の暑さに少し無理を致し、体調を狂わせとうとう氣候に負けて、十月末頃より寝込んで了いました。異常な体ですから足腰は痛み節々迄病んで、昨日

日盛りに畑にやつと行き 自家用の野菜を採ってきました。昨日からし菜は洗面器に洗つて漬けます。重しはビニール袋に砂を入れて使い、四

―五日で漬り、自家用です。冬菜は茹でて使つて下さい。京菜は汁やラーメンに入れて食べます。野菜の不作で散々です。

鈴木昇さん御永眠の由、遙かにご冥福を祈り致すのみ 老人は誰も同様で、他界する迄ですが 急激の寒に寝込んだら食欲もなく、意

志も張れず衰えるばかりです。私も何時まで生きるのか？ 裸で生まれ裸で自然に帰ることが生物ですね。覚悟はしていますが、いつも申す通り、自分

との闘いで、生きている間は学び何かをやる(働く意)。

五月五日 安孫子さんとドライブしたきりです。毎日一人ですが、日陰の家です。煙草が美味しいならいいですが、吸つてみるのみ。また愚痴になりましたね。

台風一過より晴れ日ですが 例年より寒さ急で十二月中旬同様です。雪こそ降

らぬが日陰の家で室内五―六度、日当は九時です。夏の暑さに無理したため体

調衰えて寝込んで了いました。食欲もなし、起き出す意志もなし、ぼけ老人に

なりました。物忘れは多いし、寒さのみでなく、足腰の筋肉痛はやめ右腕のみ

使うから痛み(左腕は使えず)、でも十時頃戸外にでて見ますが、煙草も駄目

で、どうにか(金)診療所に行き、点滴をしたらいよいよで、二週出張の度に

願いました。最初は先生(医)が送つて下さいました。元気がでると食欲も出

ます。もう駄目かと思つたが、宿命というか運命というか尽きず、生きる事は

学事で何かを行う(働く)ことで 縄文人の生活を思つて 畳の上に蒲団を敷ける

ことは倅だと思いません。毎日一人は流石に覚悟していても侘しいが 自分との闘いはつづけます。

東北の吹雪の景観をテレビで見ました。講演や集会大変でした。老人は誰も

似たもので、然しご両親は悦んだでせう。長い百姓の初体験の夏も秋に入り 野菜の凶作には驚きました。

やつと元氣になり里芋を収穫、殻の皮を剥き干しています。十三日は暖でした

が風が冷たい。十六日雲 雪が来そうです。

497 (12/11) 初雪の 粧いなせる 小春日や

異常な氣候で例年より寒が一ヶ月も早く、雪こそ降らぬが住み難い寒です。東北は吹雪を講演や出土品を鑑賞や会集で大変だったことと存じます。果てしのない改革刷新、何処の職場も大変ですね。ご存知の通り九時にならないから膝は立てられず、足は延ばして寝て了うだけです。七月八月の四十日の大日照りで、五―六月の冷害からやつと穫れだした野菜は

すぐ末枯れ、八月末に大根・野沢菜・ホウレン草は作れず、九月半の雨間をやつと作りました。インゲン、キュウリ、トウモロコシの後作の切り換えですか

ら暇はかかるし、それに段々ぼけて了い物忘れが多く、年齢でせう。二年長カブの種がなく乾期は作れず、九月に作った大根ははじめてですが、大きいのを輪切りにしてヒモを通して干してみました。家では日向(の畑に倅が)白菜を沢山作り 好成績で漬物は白菜のみです。私はからし菜や京菜も作ったが僅で、十月に入り京菜作ったが是は遅すぎ、見込みなしです。

一寸お尋ねしますが、東北のブナは冬葉が落ち、関東のブナより春芽吹が早い
ですか。私は東北のブナを何本か植てあります。

平成十五（2003）年

498 (1-1) はりねずみのごとく まるくなり しんねんかな（年賀状）

499 (1-17 最後の便り) 例年より一ヶ月早い冬到来に降参です。鈴木昇さん

他界間無しに浅川利一先生の死去は残念ですね。「縄文時代の渡来文化」共
編は読み始めたところです。百歳にて絵筆を執る人、百歳を超えて畑に出る
人もあり、実に不思議なものです。吹雪きの東北に再三御来駕 大変です。
連続三日間の積雪に散々です。知つての不自由な体ですから、戸外は雪後は
0.5-0.6度でせう。室内が四度-二度で、置炬燵とポットで湯を沸せる生活で
す。炬燵に膝が立てられず、座しは尻が冷えて長く続かず、足を延ばせば寝
れるが 厚着しても寒いですね。なにしろ九時にやつと日の当たる日陰の家で
難渋です。電気毛布にスイッチを入れ寝て居る事にしました。暖ですが、体
重のかかる処を替えるので、寝返りばかりする次第です。終日寝る日も多く、
でも戸外に日に三回でて煙草吸うですね。畑に行くとは五本です。
今日師走廿日は誕生日で満九二才です。忙しい折 祝て呉る子供もあります。
寝て居ると食欲もなく独りポッチは過去の思い出したくない事のみが浮ぶ。
今日は長女が暮の大掃除に来ました。安孫子さんから暦、柚味噌、名物の高
幡不動尊のおまんじゅう、長女にも分けてやりました。
21日 足どりよろけて柱に頭を打ちつけて瘤ができ 頭まで痛みます。泣面蜂
です。頭は痛い床屋へ最終の日に行きました。
例の畑の傍の妻の同級生が先日死去七ツ下です。ショックですね。
元旦早々雪で、山野も一面 白一色です。正月は誰か来客があるかと投函遅れ
ました。御礼迄

木俣さんへの句

しぐれけり 野沢菜作れず 戻りたり

野沢菜の 蒔き遅れ雨をきにしぬ